

安全対策セミナー

岡村 眞 特任教授

高知大学総合研究センター防災部門
高知大学南海地震防災研究支援センター長(兼任)

南海トラフ巨大地震に備える
ー徳島県における地震・津波予想と事前対策ー

平成26年1月10日(金)16:30から
13号館4階東講義室

内閣府中央防災会議「東北地方太平洋沖地震を教訓とした地震・津波対策に関する専門調査会」委員、内閣府「南海トラフの巨大地震モデル検討有識者会議」委員などをつとめておられる大変著名な先生です。先生曰く「世界で最も規則的に発生してきたことが知られている海溝型南海トラフ地震は早ければ2025年頃には終わっている。その規模は単独発生でM8.4、連動型の場合M8.6からM9.1と考えられ、震源域は徳島県全県域直下に広がる。地盤の軟弱な徳島沿岸では最大震度7の「ゆれ」が3分間程度続き、その後14分から50分程度で大津波が襲ってくる。地震対策はその「ゆれ」が始まるまでに何をやっておいたか、「事前対策」がすべてであることを理解し、行動する必要がある。」とのこと。

多数の職員、院生、学部生の御来聴を歓迎します。

世話人:薬学部安全対策委員長 角田鉄人, 内線8452